

市立美唄病院改革プラン

(平成 21 年度 ~ 平成 23 年度)

(素案)

平成 20 年 11 月

美唄市

市立美唄病院改革プラン(素案)

団 体 名	北海道 美唄市							
プ ラ ン の 名 称	市立美唄病院改革プラン							
策 定 日	平成 20年 10月 末日							
対 象 期 間	平成 21年度 ~ 平成 23年度							
病院の現状	病 院 名	市立美唄病院						
	所 在 地	北海道美唄市西2条北1丁目1番1号						
	病 床 数	143床						
	診 療 科 目	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙1のとおり		<p>医師確保が非常に困難な状況の中、特に内科医師の不足から内科入院機能を休止しているが、当市の疾病構造は内科が上位を占めている状況から、内科医師の確保による内科入院の再開に全力で取り組み、市民ニーズに対応していく。</p> <p>また、現在の医療体制を最低限確保しつつ、本市の地域医療と市内で唯一の救急告示病院として、近隣の中核病院と連携し1次～1.5次の救急医療を担う。</p> <p>市民に信頼される中核病院として、地域における疾病予防、健康増進を図るため集団検診、医療相談等の保健衛生活動の充実を図る。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要)		<p>病院の建設改良に要する経費の1/2(起債分を除く)</p> <p>病院事業債元利償還金の2/3(14年度債以前分)ないし1/2(15年度債以降分)相当額</p> <p>高度医療機器に要する経費(高度医療機器及び施設に関する企業債元利償還金の1/3ないし1/2、高度医療機器のリース料、維持費及び修繕費)</p> <p>救急に要する経費(空床確保分、救急外来に要する経費)</p> <p>リハビリに要する経費(費用-収益)</p> <p>保健衛生活動に要する経費(医療相談に係る人件費相当額)</p> <p>小児医療に要する経費(小児入院に係る人件費等の経費-小児入院収入)</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率		72.9	80.8	98.4	90.6	100.3	
	職員給与費比率		89.3	76.6	62.6	63.1	61.8	
	病床利用率		40.4	46	72.1	72.1	72.1	
	医業収支比率		67.1	74.7	91.1	83.6	92.6	
	不良債務比率		191.8	138.2	121.1	130.6	128.4	
上記目標数値設定の考え方		<p>・計画3年度目に当たる平成23年度に経常黒字化を目指す。また、平成20年度に公立病院特例債(8億3,920万円)を発行し、一般会計の計画的な繰入により、平成27年度末を持って不良債務の解消を目指す。</p> <p>・休床病床の削減を行い平成21年度以降の病床利用率を70%以上に引き上げる。</p> <p>(経常黒字化の目標年度: 23年度)</p>						

				団体名 (病院名)	北海道美唄市 (市立美唄病院)			
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
年延入院患者数		30,898	24,017	25,806	25,806	25,876		
年延外来患者数		77,415	68,883	73,733	73,995	74,257		
救急患者数		3,976	4,500	5,000	5,500	5,500		
救急車搬送件数		343	540	550	550	550		
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入						平成20年度に医療事務業務の民間委託実施済み
		事業規模・形態の見直し						平成20年4月1日一般病床66床削減済み(一般98床、療養45床の合計143床) 平成21年度は更に一般45床削減し、病床利用率の引き上げを目指す。
		経費削減・抑制対策						平成21年度から医師を除く職員給与を約15%削減し人件費の縮減を目指す。 近隣病院との連携により薬品及び診療材料の共同購入等の方策を検討し、材料費の削減を目指す。(南空知地域自治体病院等広域・連携検討会議に於いて検討を進める。)
		収入増加・確保対策						療養病床の効率的運営:内科入院の休止により、療養病床入院患者数への影響があるものの、地域連携の強化(医療総合相談室の有効活用)により、療養病床の利用率を引き上げる。 透析患者の増:美唄脊損センターの透析がH20年度末を持って終了することに伴い透析患者受入に伴う収益増。
		その他						
各年度の収支計画		市立美唄病院収支計画のとおり						
その他の特記事項	病床利用率の状況		17年度	42.8%	18年度	44.9%	19年度	40.4%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等		平成19年度以前過去3年間の病床利用率が非常に低く、かつ、平成20年度からは内科医師の不足に伴い内科入院の休止を余儀なくされていることから、次のとおり病床数の見直しを行う。 平成20年4月1日一般病床66床削減済み(一般98床、療養45床の合計143床) 平成21年度は更に一般45床削減し、病床利用率の引き上げを目指す。 人工透析患者増(北海道中央労災病院美唄脊損センターからの転院)に対応するため平成20年度に現在の人工透析施設の内部改修を行い透析ベッドの増加を行う。					

団体名 (病院名)	北海道美唄市 (市立美唄病院)
--------------	--------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	市立美唄病院が所在する美唄市内には、北海道中央労災病院せき損センター（157床）、花田病院（120床）、しろした病院（59床）、倫生会美唄病院（234床）が開設されており、主な近隣の市町村には、岩見沢市立総合病院（484床：岩見沢市）、北海道中央労災病院（312床：岩見沢市）、砂川市立病院（535床：砂川市）が開設されている。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> ・南空知地域自治体病院等広域化・連携検討会議において、協議検討中
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)		
	点検・評価の時期(毎年 月頃等)	・点検,評価は毎年6月末頃実施予定。 ・公表は毎年11月市広報誌で公表予定。	
その他特記事項			

公立病院として果たすべき役割について（詳細）

医療機能の方向

内科の入院機能の確保

本市における疾病構造は内科系（循環器系・消化器系・新生物）が上位を占めているほか、高齢化の進展により高血圧や脳血管疾患、がん等のいわゆる生活習慣病患者の増加が見込まれますが、市内には内科の入院機能を有する医療施設は、1施設(60床)のみとなっていることから、内科医師の確保に全力をあげて取り組み、内科入院機能の再開を目指します。

人工透析の拡充

市内における透析治療は市立病院（15床）、北海道中央労災病院せき損センター（12床）で実施していますが、せき損センターの透析業務は平成20年度末で廃止されることから、これら患者の受け入れのため体制等の整備を進め対応していきます。

救急医療体制の確保

平成20年4月から北海道中央労災病院せき損センター（旧美唄労災病院）が救急告示を取り下げたことから、救急医療確保のため美唄市医師会との協力連携体制のもと、本年4月から救急の窓口を市立病院に一本化し、救急患者の対応を行っており、市民が安心して生活できるよう、引き続き、医師会と緊密な連携を図り、市内で唯一の救急告示病院として、救急医療を担っていきます。

小児救急

小児科の入院機能を有する医療施設は市立病院と北海道中央労災病院せき損センターの2施設となっていますが、せき損センターの小児科は平成20年度末を持って廃止が予定されていますが、市民が安心して子育てができる環境をつくるため、引き続き、2次救急を含めた診療を担っていきます。

産科・周産期医療

市内における産婦人科を標榜している医療施設は、市立病院と北海道中央労災病院せき損センターの2施設となっていますが、せき損センターは現在休診中(平成20年度末で廃止予定)のため、市立病院のみとなっています。

市立病院は、近年の産科医師不足のため、平成16年から砂川市立病院のサテライト病院として、外来診療(週2日)のみを行っており、産科医不足が深刻化している現状を踏まえ、引き続き、砂川市立病院との連携のもと、サテライト病院として外来診療を担っていきます。

医療総合相談体制(地域連携機能)の充実

単独の病院で市民の医療ニーズに対応することは困難であることから、これからの地域医療においては、医療施設相互の機能分担と業務連携による地域医療連携システムの構築と推進が不可欠となっています。

このため、市内における各医療機関や南空知及び中空知圏域の地域センター病院をはじめとする各医療機関との連携・ネットワークを構築し、市民が適切な診療科で安心して治療が受けられるよう、医療相談や受診、転院、在宅相談等のほか、紹介先病院や福祉施設等との連携を強化するため、医療総合相談(地域医療連携)体制を充実していきます。

市立美唄病院事業収支計画

(単位：千円)

年度		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
区分		決算額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	
収 入	1. 医業収益 a	1,225,184	1,086,672	1,239,384	1,240,637	1,243,314	1,239,689	1,237,531	1,243,267	1,241,310	
	(1) 料金収入	1,160,032	1,002,172	1,114,884	1,116,137	1,118,814	1,115,189	1,113,031	1,118,767	1,116,810	
	入院収益	656,743	485,007	526,188	526,188	527,611	525,421	522,607	526,310	526,861	
	外来収益	503,289	517,165	588,696	589,949	591,203	589,768	590,424	592,456	589,949	
	(2) その他	65,152	84,500	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500	
	うち他会計負担金	38,916	60,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
	うち基準外繰入金										
	2. 医業外収益	156,602	139,475	152,936	150,295	153,679	153,405	174,572	176,858	175,296	
	(1) 他会計負担金	83,650	67,906	59,819	59,840	60,781	59,930	59,975	60,000	60,000	
	うち基準外繰入金										
	(2) 他会計補助金	59,661	60,477	82,990	80,328	82,771	83,348	104,470	106,731	105,169	
	一時借入金利息分										
	(3) 国(県)補助金										
	(4) その他	13,291	11,092	10,127	10,127	10,127	10,127	10,127	10,127	10,127	
	経常収益 (A)	1,381,786	1,226,147	1,392,320	1,390,932	1,396,993	1,393,094	1,412,103	1,420,125	1,416,606	
	支 出	1. 医業費用 b	1,826,889	1,454,229	1,361,128	1,483,656	1,342,164	1,328,031	1,300,484	1,298,416	1,281,711
		(1) 職員給与費	1,094,433	832,716	776,445	783,395	768,630	755,065	740,898	746,037	737,480
		(2) 材料費	248,607	172,890	191,005	191,285	191,663	191,617	191,669	191,787	191,868
		(3) 経費	409,828	381,399	349,228	472,366	347,999	348,744	337,302	336,208	332,724
		うち退職手当組合負担金	178,775	81,188	71,524	192,367	70,748	69,078	67,306	67,931	66,862
		(4) 減価償却費	71,867	56,594	42,100	34,260	31,522	30,255	28,265	22,034	17,289
		(5) その他	2,154	10,630	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350
		2. 医業外費用	68,749	62,620	53,177	51,158	50,847	48,298	44,200	37,188	28,687
		(1) 支払利息	46,829	42,427	32,300	30,153	29,960	27,293	23,676	16,743	8,359
		うち一時借入金利息	29,555	37,392	18,017	18,011	19,441	19,163	17,702	12,437	5,675
		(2) その他	21,920	20,193	20,877	21,006	20,887	21,005	20,525	20,445	20,328
経常費用 (B)		1,895,638	1,516,849	1,414,305	1,534,814	1,393,011	1,376,329	1,344,684	1,335,604	1,310,398	
経常損益 (A)-(B) (C)		513,852	290,702	21,985	143,882	3,982	16,765	67,419	84,521	106,209	
特 別 損 益		1. 特別利益 (D)	150,000	254,188	120,000	128,000	123,000	209,000	466,000	580,000	474,000
		他会計繰入金	150,000	210,000	120,000	128,000	123,000	209,000	466,000	580,000	474,000
		うち特別償元金分			119,884	119,884	119,884	119,884	119,884	119,884	119,896
		その他		44,188							
		2. 特別損失 (E)	202	300	300	300	300	300	300	300	300
		特別損益 (D)-(E) (F)	149,798	253,888	119,700	127,700	122,700	208,700	465,700	579,700	473,700
純損益 (C)+(F)		364,054	36,814	97,715	16,182	126,682	225,465	533,119	664,221	579,909	
累積欠損金 (G)		4,136,503	4,173,317	4,075,602	4,091,784	3,965,102	3,739,637	3,206,518	2,542,298	1,962,389	
資 本 的 収 入		1. 企業債	162,100	839,200							
		2. 他会計出資金	53,665	74,597	36,721	34,261	30,336	28,275	5,668	5,787	5,910
		3. 固定資産売却代金	60	7,437							
		4. その他									
		収入計 (a)	215,825	921,234	36,721	34,261	30,336	28,275	5,668	5,787	5,910
	支 出	1. 建設改良費		30,000							
		2. 企業債償還金	245,153	69,442	176,017	171,605	165,388	162,296	128,386	128,565	128,761
		うち建設改良のための企業債分	245,153	69,442	56,133	51,721	45,504	42,412	8,502	8,681	8,865
		うち特別償分			119,884	119,884	119,884	119,884	119,884	119,884	119,896
		支出計 (b)	245,153	99,442	176,017	171,605	165,388	162,296	128,386	128,565	128,761
差引不足額 (b)-(a) (c)	29,328	821,792	139,296	137,344	135,052	134,021	122,718	122,778	122,851		
単年度不良債務額	321,385	848,060	569	119,216	23,202	121,749	438,716	563,527	474,397		
不良債務額	2,349,507	1,501,447	1,500,878	1,620,094	1,596,892	1,475,143	1,036,427	472,901	1,496		
累積欠損金比率 (c)/a × 100	337.6	384.0	328.8	329.8	318.9	301.7	259.1	204.5	158.1		
不良債務比率 (d)/a × 100	191.8	138.2	121.0	130.6	128.4	119.0	83.7	38.0	0.1		
医業収支比率 a/b × 100	67.1	74.7	91.1	83.6	92.6	93.3	95.1	95.7	96.8		